

令和3年度シラバス (教科・科目: 数学・数学B)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	選択

教科書	学習書・他教材
『新高校の数学B (数研出版)』	『問題演習用プリント (教師作成)』

学習目標	
ベクトル、数列について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。また、楽しく学びながら数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学のよさを認識できるようにし、それらを活用する態度を育てる。	

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲 (学習期間)
○ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味や、その相等などについて学ぶ。 ベクトルの和、差及び実数倍の図示について学ぶ。 基本ベクトルの意味を理解し、ベクトルを成分で表したり、ベクトルの大きさを求める。 	○前期中間考査
	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの内積の意味や性質を理解し、2つのベクトルの内積とその求め方について学ぶ。 2つのベクトルが垂直であるかどうか、内積を利用して調べる。 位置ベクトルの意味を理解し、それを用いて線分を分ける点や重心の表し方について学ぶ。 	○前期期末考査
○数列	<ul style="list-style-type: none"> 数列の意味とその一般項について学ぶ。 等差数列と等比数列の意味を理解し、一般項や和を求める。 	○後期中間考査
	<ul style="list-style-type: none"> 和を表す記号Σの意味を理解し、Σを使った和の表し方について学ぶ。 階差数列の意味を理解し、その規則性を調べる。 漸化式の意味を理解し、漸化式を用いて数列を表す。 数学的帰納法の意味を理解し、数学的帰納法を用いて証明する手法を学ぶ。 	○後期期末考査

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
<p>数学的活動を通して、ベクトルや数列における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを活用しようとする。</p>	<p>数学的活動を通して、ベクトルや数列における数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して、数学的論拠に基づいて判断しようとし、表現する能力を高めている。</p>	<p>ベクトルや数列の考えにおいて、事象を数学的に考察し、処理する能力を高め、創造性の基礎を培う力を身につけている。</p>	<p>ベクトルや数列の考えにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号を理解し、基本的な知識を身に付けている。</p>
<p>総合的評価規準 以上の観点を踏まえ、成績は定期考査の点数を中心に、授業態度、出席状況、夏休み・冬休みの課題の状況、提出物の状況 等から総合的に評価する。</p>			

授業の進め方、課題・提出物など
<ul style="list-style-type: none"> 授業に必要なもの(教科書、ノート、鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、赤ペン等)を必ず持ってくる。 授業中は、しっかりと「聴く」「考える」「書く」。 出された課題にしっかりと取り組み、提出期限を守る。

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業のペースは速く、内容も高度になるため、1回の欠席が大きな負担となります。毎時間しっかりと出席をしてください。 定期考査の点数がよくても、普段の授業態度が良くない場合は、悪い評価となります。逆に、定期考査の点数が多少悪くても、普段の授業態度が良ければ、良い評価となります。